

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	腎細胞癌
治療法	オブジーボ単独療法

抗癌剤・商品名	1 オブジーボ
規格	20mg/2mL 100mg/10mL 240mg/24mL
一般名	ニボルマブ
一日投与量(規定)	240mg/body
患者情報から算出した一日投与量	240 mg
実際の投与量	240 mg
投与日	day1
1クール期間	14日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	腎細胞癌
推奨経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口関わらず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	添付文書ならびに院内対応フローチャートに準ずる
副作用	<p>●オブジーボ</p> <p>重大 1.間質性肺疾患(3.6%) 2.重症筋無力症、心筋炎、横紋筋融解症(頻度不明)、筋炎(0.1%) 3.大腸炎(0.9)、重度の下痢(0.7%) 4.1型糖尿病(0.3%) 5.免疫性血小板減少性紫斑病(頻度不明)</p> <p>6.肝機能障害(0.7%)、肝炎(0.2%)、硬化性胆管炎(頻度不明) 7.甲状腺機能障害(甲状腺機能低下症(5.6%)、甲状腺機能亢進症(1.2%)、甲状腺炎(0.8%)) 8.神経障害(末梢性ニューロパチー(1.4%)、多発ニューロパチー(0.1%)、自己免疫性ニューロパチー、ギラン・バレー症候群、脱髄(いずれも頻度不明))</p> <p>9.腎障害(腎不全(0.4%)、尿管間質性腎炎(0.2%)) 10.副腎障害(0.8%) 11.脳炎(頻度不明)</p> <p>12.重度の皮膚障害(中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)(いずれも頻度不明)、多形紅斑(0.3%) 13.深部静脈血栓症(0.1%)、肺塞栓症(0.1%)</p> <p>14.Infusion reaction(2.7%)</p> <p>その他 (5%以上)下痢、悪心、疲労、発熱、食欲減退、そう痒症、発疹(1~5%未満)腹痛、口内乾燥、口内炎、嘔吐、便秘、倦怠感、無力症、悪寒、末梢性浮腫、粘膜の炎症、肺感染、高血糖、低ナトリウム血症、筋肉痛、関節痛、味覚異常、浮動性めまい、頭痛、血中クレアチニン増加、発声障害、呼吸困難、咳嗽、皮膚乾燥、皮膚病変、紅斑、ざ瘡様皮膚炎、丘疹性皮膚疹、高血圧、体重減少</p>
備考	

オブジーボ単独療法 観察記録

所要時間: 1時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師: オブジーボ(mg) 一般名(ニボルマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間	調剤
投与指示	本体	側管			
	生食100mL		1時間かけて点滴【100mL/h】		
		生食100mL+オブジーボ ※フィルター付きルートにて点滴	30分かけて点滴【 248 mL/h】		
本体終了後抜去					